

いよいよブレークを始めた

1名分料金で
2人目無料

有機ELディスプレイ・照明技術とその応用

- ◆日時:2018年10月19日(金) 10:30~16:30
- ◆会場:商工情報センター(カメラプラザ) 9F 第2研修室
- ◆聴講料:1名につき49,980円(税込、昼食・資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

- ・1名でお申込みされた場合、1名につき47,250円
- ・2名同時でお申し込みされた場合、2人目は無料(2名で49,980円)

※学生のご参加は、1名につき受講料10,800円です。

(ただし、企業在籍者は除きます。また、2人目無料も適用外です。)

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

【講師】国立大学法人山形大学 COI研究推進機構 産学連携教授 工学博士(Ph.D.) 菰田 卓哉 氏

<略歴>

1978年、京都大学工学部電子工学科卒業、同年松下電工(株)【現パナソニック(株)】入社。1991年、英国に同社のUK R&D Laboratoryを設立し、所長。2002年、有機ELの研究開発に着手。2011年、NEDOの開発成果をもとにパナソニック出光OLED照明(株)の設立に尽力し、有機EL照明パネルの発売にこぎつける。2015年10月、山形大学 COI(Center of Innovation)研究推進機構産学連携教授及びフロンティア有機材料システム創成フレックス大学院産学連携教授。2017年4月、山形大学発ベンチャーの(株)FLASKを創業し、最高経営責任者(CEO)に就任。現在、山形大学産学連携教授、(株)フラスクCEOのほか、大阪大学特任教授、アロー・コンサルタンツ・アンド・テクノロジーズ代表。

【受講対象】

- ・有機ELビジネスに参入している、または参入予定の装置・部材・デバイスメーカー、有機ELを応用した商品開発を検討・推進中の技術者、企画担当者。
- ・有機ELビジネスに投資を考えているVC、投資関連団体、銀行の担当者など。

【習得できる知識】

- (1) 有機ELディスプレイ・照明の基礎知識
- (2) 有機ELは、ディスプレイ、照明の両方に応用が期待されているが、LCD(液晶)やLED(発光ダイオード)などの既存デバイスとなりが異なるのか(優位性)に関する知識
- (3) 有機ELのデバイス構造とその製造方法—蒸着方式、印刷方式
- (4) 有機ELデバイスの評価方法
- (5) 有機ELの問題点とその解決法
- (6) 有機EL材料の基礎知識
- (7) 有機ELの期待される応用分野と今後の方向性
- (8) 有機ELの今後の課題と展望

【講座の趣旨】

有機エレクトロニクス技術は確実に生活を変革する基盤技術になる。その代表格が有機ELであろう。将来テレビは壁紙のような形になり、小さく折り畳みができたり、くるくる巻き上げることでもできるようになるだろう。こんな夢物語が有機ELで実現できるようになる日も近いうちにやってくる。今まであまり公開されることのなかった有機ELディスプレイ技術だが、現在のレベルまで進展しているのか? また、有機ELは照明をも変える。人類が今まで手にしたことの無い、平面で発光する光源デバイスなので、面積化が可能であり、紫外線レス、水銀レスという点で、環境にもやさしい。また、近年の材料・デバイス技術の進展により、LEDを超える高効率、長寿命が期待できるものになってきた。

本講演では、有機EL技術の基礎を解説し、あわせて最新技術開発動向及び課題、更に有機エレクトロニクスがもたらす真のインパクトは何かについて議論する。

【プログラム】

1. 有機ELが新たな段階に一その期待
2. 最新有機EL技術を解剖する
 - 2-1 有機ELの発展の足跡
 - 2-2 有機ELの基本構造とその進化
3. 製造工程の基本とその進化
 - 3-1 蒸着法
 - 3-2 印刷法
4. 封止工程の基本と最新動向
 - 4-1 キャップ封止
 - 4-2 薄膜封止
5. 有機EL材料の基礎と最新動向
 - 5-1 蛍光材料
 - 5-2 りん光材料
 - 5-3 TADF材料
6. サポート材料と塗布型材料
 - 6-1 周辺材料
 - 6-2 塗布型材料の現状と課題
7. 大型化有機ELディスプレイへの対応
 - 7-1 有機ELディスプレイの基礎技術
 - 7-2 蒸着型の現状と展望
 - 7-3 塗り分け型
 - 7-4 白色バックライト型
 - 7-5 塗布型の現状と展望(インクジェット、転写・グラビア)
8. フレキシブル化の現状と将来
 - 8-1 Foldable OLEDの技術的課題
 - 8-2 壁紙ディスプレイの将来像
9. 有機ELの車載用途への応用と課題
 - 9-1 なぜ、車載用途に有機ELが期待されるのか?
 - 9-2 車載用有機ELに必要な特性
 - 9-3 車載用途で実用化された例
 - 9-4 今後の車載用途応用の展開
10. まとめ

《質疑応答・名刺交換》

『有機EL』セミナー申込書

FAX:03-5857-4812

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送

● セミナーの受講申し込みについて ●

左の申込みフォームに必要な事項をご明記の上、FAXでお送りください。お申込み後は、弊社より確認のご連絡をいたしまして受講券、請求書、会場の地図をお送りいたします。セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>